

## 一般社団法人TKM設立趣旨書

現代の様々な負の社会的要因や発達障がいといった個人的な要因から、青少年が不登校、引きこもりになる事例が後を絶たない。その数は年々増加し、極めて深刻な社会現象となってきた。また、その様相は年々多様化し、年齢的な広がりに加え、その正確な数を把握することは困難な状況である。

そして、不登校、引きこもり問題は未だ解決されない社会問題の大きなひとつとなっている。そこで、このような青少年に、様々なスキル訓練や高校卒業資格の取得などという、具体的な活動をとおして、彼らの社会的な自立に対する支援を行いたい。

上記の活動を中心に、広く青少年の健全な育成に寄与することを目的に、これらの活動を継続的、安定的に行っていくため、一般社団法人TKMを設立する。

平成30年5月8日

一般社団法人TKM 理事 高口 和治  
理事 川端 弘実  
代表理事 目黒 進  
監事 石川 志郎

### 一般社団法人TKMの名称

不登校や引きこもりの青少年の社会的な自立を支援したいという思いは、発起人3人に共通したものである。30数年にわたり公立の学校教育に携わった3人は、様々な事例に遭遇し、やりきれない思いをもつことが少なくなかった。

学校現場では様々な制約や限界があり、思うように支援が進まないことも多く、卒業後の不登校や引きこもりの生徒の社会的な自立は、困難な状況にあると言わざるを得ない。

そんな中で、社会的コミュニケーションスキルを身につけることや、高校卒業資格を取得することなどという支援の必要を痛感し、そのための組織的作りをずっと模索し続けていたのが、高口氏であった。

高口氏は、退職を機にこれまであためていた「広域通信制高校」を新潟に設立し、そこを拠点として、不登校や引きこもりの生徒を支援する活動を始めることを決意した。

そのために、ともにこの活動に賛同する川端氏、目黒を仲間として、三人で法人を立ち上げることにした。法人の立ち上げは目黒が担当し、検討の結果、立ち上げる法人は「一般社団法人」を選択した。

また、法人の名称については、三人の頭文字をとって「一般社団法人TKM」とした。いつも目標を「高め=TKM」に設定し、その実現を目指そうという思いを込めている。高みを目指すのではなく、「高め（できそうなことの少し上、できることの上限）」を目指そうというのである。

三人で結束して何事にも対処する。お互いの意見を尊重する。そして、実りある実践を積み重ねていくことで、三人、それぞれの理想の実現を目指そうと思う。

平成30年5月7日

一般社団法人TKM 代表理事 目黒 進